

平成25年度決算特別委員会での主な質疑事項と意見・要望

I 第1分科会（総務財政委員会・建築消防委員会所管分）

1 一般会計（歳入）

（質疑事項）

- ・ 未利用市有地の積極的な売り払い
- ・ 第三セクター等改革推進債についての今後の対応
- ・ 臨時財政対策債に対する本市の見解

（意見・要望）

- ・ 個人市民税が増収となっているのは、主に株取引が活発化したことによるものであり、給与所得の面からはアベノミクス効果が見られない。
- ・ 市民間の公平性を確保するため、市税等の滞納整理を着実に進められたい。
- ・ ふるさと納税による寄附金の使途について、市民にわかるよう明確化を検討されたい。

2 一般会計（歳出）

○ 総務費

（質疑事項）

- ・ 集団的自衛権行使容認への見解
- ・ 行政評価のあり方
- ・ 行財政改革
- ・ スポーツ振興による北九州力(りょく)アップ
- ・ 北九州市のクラブチームづくり
- ・ ギラヴァンツ北九州への支援の総括
- ・ 北九州ジオパーク構想の推進
- ・ 防犯カメラの設置による安全・安心なまちづくり
- ・ 今後の暴力団対策
- ・ 市民センターの有効活用と今後
- ・ ふるさと納税制度に係る事業の行政評価
- ・ コンビニエンスストアでの住民票などの交付

（意見・要望）

- ・ 引き続き、市による市内企業への優先発注に努められたい。
- ・ 入札不調の解消に、より一層努められたい。
- ・ ケースワーカーについて、専門性を確保するため、関係局と協議の上、適切な人員配置に取り組まれたい。
- ・ 特別会計について、中長期的な視点で経営改善に向けた取り組みを検討されたい。
- ・ 指定管理者の評価ランクについて、現実に即した見直しを図られたい。
- ・ 施設使用料の減免制度について、市全体の統一基準を策定されたい。

- ・ ギラヴァンツ北九州のサポーターによる不適切と思われる応援については、公金を投入している以上、強い姿勢で臨まれない。
- ・ 自然史・歴史博物館について、集客力が持続している間に、更なる魅力づくりに取り組まれない。
- ・ 省エネルギー化と町内会の負担軽減の観点から、防犯灯のＬＥＤ化について、計画を前倒しして進められたい。
- ・ 黒崎行政サービスコーナーの設置場所について、利便性向上の観点から、見直しを検討されたい。

○ 土木費

(質疑事項)

- ・ 中心市街地活性化基本計画
- ・ 戸畑区の高台地区の生活交通の確保
- ・ 門司麦酒煉瓦館の集客対策

(意見・要望)

- ・ 環境首都総合交通戦略でのモビリティマネジメントについては、関係局と連携しながら更に取り組みを進められたい。
- ・ コミュニティサイクル事業については、利用料金等を含め利用しやすいシステムを検討されたい。
- ・ 交通政策の一環として、都市高速道路から下関ＩＣまでの関門橋の利用料金を関門トンネルと同一料金にするよう国等へ要望されたい。
- ・ 若戸大橋・若戸トンネルの無料化について、可能な限り早い時期での実現に向け取り組まれたい。
- ・ 中心市街地活性化については、既存の公共施設等を活用し、まちのにぎわいづくりに取り組まれたい。
- ・ コンパクトシティの実現に向けて、国の支援制度などを活用し、取り組まれたい。

○ 建築行政費

(質疑事項)

- ・ 市営住宅における公共施設マネジメントの取り組み
- ・ 老朽空き家等の除却促進の支援策
- ・ 市営住宅太陽光発電設備

(意見・要望)

- ・ 市営住宅の入居時に連帯保証人が見つからない場合の特例制度について検討されたい。
- ・ 市営住宅については、民間の発想を導入した運営を検討されたい。
- ・ がけ地近接等危険住宅移転事業の助成制度の周知徹底を図られたい。
- ・ 民間建築物のアスベスト対策については、解体時に作業員や周辺住民に被害を及ぼすことのないよう、十分な対策をとられたい。

- ・ 老朽空き家等の除却については、関係部局と連携し、除却を促す税制上の優遇措置を検討されたい。
- ・ 老朽空き家等除却促進事業については、除却にかかる所有者の負担を更に軽減するよう検討されたい。
- ・ 市営住宅太陽光発電設備については、売電収益が市の増収につながるよう効果的な取り組みをされたい。

○ 消防費

(質疑事項)

- ・ 木造市場等防火安全対策モデル事業の取り組み状況
- ・ 地域防災計画見直し後の取り組み
- ・ 科学的知見を取り入れた震災対策

(意見・要望)

- ・ 消防局の女性職員の活躍推進に取り組まれない。
- ・ 緊急通報システムについては、広く周知を図り、今後とも積極的な普及に努められたい。
- ・ 木造市場等防火安全対策モデル事業を通して効果的な防火対策を構築されたい。
- ・ 住宅火災の防止のため、住宅用火災警報器の設置促進や幅広い啓発活動などの取り組みを強化されたい。
- ・ 白島石油備蓄基地での安全確保や事故防止のため、関係局と連携し、十分な体制を取られたい。
- ・ いきいき安心訪問については、人員体制の強化等を含めて積極的に取り組まれたい。
- ・ 消防団がさまざまな地域活動に参加していることを、広く市民に周知されたい。
- ・ 訓練研修センターのグラウンド整備等については、早期に対応されたい。

3 土地区画整理特別会計

(意見・要望)

- ・ 折尾地区総合整備事業での区画整理事業については、最終的に直接施行とならぬよう取り組まれたい。

4 駐車場特別会計

(質疑事項)

- ・ 駐車場特別会計の運営
- ・ 市営駐車場における要介護者の料金の割引

(意見・要望)

- ・ 公共駐車場としての機能や役割、その採算性等にかんがみ、今後の駐車場特別会計のあり方について検討すべきである。

5 交通事業会計

(質疑事項)

- ・ 市営バス事業経営計画の取り組み状況

(意見・要望)

- ・ 若松北西部地域のバス路線の見直しについては、目標実現に向けて改善策に精力的に取り組まれない。
- ・ 市営バスの利用状況を分析し、アイデアを出して乗客数が増える取り組みをされたい。
- ・ ドライブレコーダーについては、その機能を十分に活用して安全運転の管理に努め、安全運行につなげられたい。
- ・ 市営バス事業を広く市民に認識してもらうとともに、民間のバス事業者に配慮しつつ、バス路線が廃止された高齢者が多い地域をサポートしていくなどの取り組みをされたい。
- ・ バス車両は、安全運行を確保するためにも、途切れることなく継続的に更新するよう検討されたい。

第2分科会（環境建設委員会・保健病院委員会所管分）

1 一般会計

○ 保健福祉費

（質疑事項）

- ・ 市立総合療育センターの再整備

（意見・要望）

- ・ 民生委員の高齢化や更なるなり手不足も考慮に入れ、福祉協力員を含め、将来なり手となる方々の確保と養成を進められたい。
- ・ 高齢化していく障害者とその親の心配に寄り添えるような施策の研究をされたい。
- ・ 障害者手帳の統一について、福岡県の状況等を更に調査し、検討されたい。
- ・ 総合療育センターについては、周辺整備も含め、利用者や従事者にとって安心して利用できる施設とされたい。
- ・ 若干増加傾向にある若年層の自殺予防においては、困難を乗り越える力を培うことなども含め、引き続き対策と啓発を進められたい。
- ・ 生活保護受給において、相談から受給に至る割合が他の都市より低いことについて見直しをされたい。
- ・ 生活保護の不正受給等に対して、市民から多くの厳しい意見が寄せられている。不公平感が出ないように努力されたい。

○ 子ども家庭費

（質疑事項）

- ・ 少子化対策
- ・ 婚活支援
- ・ 保育士確保に向けた取り組み支援
- ・ 乳幼児等医療費支給制度に対する県補助金
- ・ 乳幼児等医療費支給制度の拡充

（意見・要望）

- ・ 未収の保育料について、厳しい対応で回収に努められたい。
- ・ 年度途中の入所者に対する保育士確保の改善を図り、本当に質の高い保育へつなげるための更なる支援に一層努力されたい。
- ・ 多子世帯への支援の拡充について検討されたい。
- ・ のびのび赤ちゃん訪問事業は、出産後の母親が勇気づけられる事業であり、引き続き実施されたい。
- ・ 乳幼児等医療費支給制度の拡充については、言わば市民の衆望である。この熱い思いを受け止め、一日も早く実現されたい。
- ・ 乳幼児等医療費支給制度の拡充については、新たに一部自己負担を求めることなく、対象年齢の拡充を行われたい。

- ・ 成人式が、未来を担う若者に社会人としての行動規範を教えるような式となるよう取り組まれない。

○ 環境費

(質疑事項)

- ・ 粗大ごみ等の不法投棄対策
- ・ 北九州スマートコミュニティ創造事業の成果
- ・ 環境マスコットキャラクターていたんを活用した広報活動
- ・ 環境国際協力を担う人材育成
- ・ 広島土砂災害で発生した土砂やがれきの受け入れ
- ・ ごみステーションのマナーアップ

(意見・要望)

- ・ 環境マスコットキャラクターていたんについて、環境修学旅行で来訪した学校の出迎え、スマートフォン用アプリケーションの開発など、さまざまな取り組みを検討されたい。
- ・ 職員は、イベントへの積極的な参加を心がけられたい。
- ・ P C B廃棄物処理については、処理計画に遅れが生じないように、本市が主導的立場に立ちしっかり対応されたい。
- ・ 中小企業省エネ設備導入促進事業など、企業への助成事業については、高い投資効果が見込まれるため、継続的に取り組まれたい。
- ・ 地球温暖化防止対策である二酸化炭素の排出量の削減について、より強固に取り組まれたい。
- ・ アジア低炭素化センターについては、アジアの拠点として、さらに活動の場を拡大されたい。
- ・ ノーマイカーデー協力者の増加に向け、工夫を凝らしたP R手法を検討されたい。
- ・ 環境修学旅行で本市を来訪した学生への手土産として、小さいサイズの生ごみコンポストを制作されたい。
- ・ 古着リサイクル事業については、回収拠点を拡大するなど利便性の向上に努められたい。
- ・ ふれあい収集については、対象者の拡大に向けた検討を行うとともに、本事業が、敬老祝金の見直しによる財源を活用していることを積極的に広報されたい。

○ 土木費

(質疑事項)

- ・ 小倉駅周辺の自転車の不法駐輪対策
- ・ 土砂災害対策
- ・ 都市計画道路 6 号線の整備
- ・ 皿倉山の魅力向上に向けた一体整備

(意見・要望)

- ・ 黒崎バイパスについては、早期の整備に向けて、国への働きかけに努められたい。
- ・ 通学路の危険な箇所の改修については、児童の安全確保の観点から、速やかな事業の執行により、安全な道路整備に努められたい。
- ・ 自転車専用レーンの整備に当たっては、自転車利用マナーの啓発と一体的に進められたい。
- ・ 危険な交差点について、右折レーンの整備などの安全対策に引き続き努められたい。
- ・ 旦過市場の再整備については、関係局共同で早期の整備に努められたい。
- ・ まず渕ダム貯水量の弾力的運用は終了する予定であるが、下流の浸水被害の危険性を十分に認識し、見直しを含め慎重に対応されたい。
- ・ 市立霊園が混雑する時期には、園内道路への交通誘導員の配置や臨時駐車場の確保に努められたい。
- ・ 到津の森公園の安定的経営を確保するため、園長の後継者の確保に向けた取り組みを検討されたい。
- ・ ごみが散乱していることが多い公園について、巡回などの取り組みを強化されたい。
- ・ 公園整備にあたっては、まちづくり協議会を中心に利用促進に向けた取り組みを検討されたい。
- ・ 公園における防犯対策に当たっては、大人の目が子ども等に十分届くよう、死角ができないような遊具やベンチの配置、また樹木の伐採など、新たな視点で整備を行われたい。
- ・ 公園のトイレについて、一部にまだある汲み取り式から浄化槽式等への改善を検討されたい。
- ・ 市の職員による建設現場での安全管理の徹底に努められたい。

2 国民健康保険特別会計

(質疑事項)

- ・ 平成 25 年度より取り扱いを見直した一部負担金減免制度の適用状況

(意見・要望)

- ・ 被保険者資格証明書については、医療機関の窓口で全額自己負担となるため、短期被保険者証の交付を行った上で、保険料の納付相談に対応されたい。

3 介護保険特別会計

(質疑事項)

- ・ 在宅介護の実態とその対策

(意見・要望)

- ・ 介護支援ボランティアについて、登録者が実際の活動に結びつくよう、体験会等の取り組みを拡充されたい。
- ・ 24 時間の定期巡回・随時対応サービスを更に拡充されたい。

4 病院事業会計

(質疑事項)

- ・ ジェネリック医薬品の推進状況

(意見・要望)

- ・ 嘱託職員の任用のあり方や雇い止めの状況を改善されたい。
- ・ 建て替えを契機として八幡病院の名称を検討されたい。
- ・ 八幡病院での救急医療の取り組み継続のための人材育成を充実されたい。
- ・ 災害時医療を想定し、今後も医療従事者への意識づけや訓練に取り組まれたい。
- ・ DMA T・災害時派遣医療チームが果たす役割や活動状況の広報に努められたい。

第3分科会（教育水道委員会・経済港湾委員会所管分）

1 一般会計

○ 総務費

（質疑事項）

- ・ 北九州空港の活性化

（意見・要望）

- ・ 空港に家族連れや観光客が訪れるよう、新たな産業を創出し、成長戦略の大きな核とされたい。
- ・ 福岡空港との相互補完を実現するため、早急に滑走路の3,000メートル化に向けた取り組みを進められたい。
- ・ 今後もさまざまなイベント等を通じて、北九州空港の認知度アップを図り、空港の利用促進に努められたい。
- ・ 北九州空港の優位性をしっかりアピールし、国内線・国際線ともに新規路線の誘致を推進されたい。
- ・ 北九州空港に就航するすべての路線の利用率が上がるよう配慮されたい。
- ・ スターフライヤーが北九州市に本社を置く航空会社であることを、積極的にアピールされたい。
- ・ スターフライヤーに対し、北九州市に本社を置いていることをアピールするよう、また、地元発注に配慮するよう要望されたい。

○ 労働費

（質疑事項）

- ・ シルバー人材センターへの支援
- ・ 労働ハンドブックの活用

（意見・要望）

- ・ 高齢社会が進展する中で、シルバー人材センターの役割は重要であり、本市としてできる限りの支援をされたい。
- ・ 労働ハンドブックの改訂に当たっては、関係法令の改正を反映させるだけでなく、障害者雇用などの分野も取り入れたものにし、また、全学生に配布できるよう検討されたい。

○ 農林水産業費

（質疑事項）

- ・ 林道整備及び森林整備の進捗状況

（意見・要望）

- ・ 急傾斜地においては、災害予防の面からも森林整備は重要である。

○ 産業経済費

(質疑事項)

- ・ リノベーションまちづくり推進事業
- ・ 中小企業振興
- ・ 商店街振興
- ・ ニューツーリズム

(意見・要望)

- ・ 下請け体質から脱却し培った技術を自主的に革新しようとする中小企業者を、積極的に支援されたい。
- ・ 小規模企業向けの支援施策も充実されたい。
- ・ 北九州市立大学の留学生が市内企業に就職できるよう努められたい。
- ・ 工場夜景をはじめとした夜景観光は、市民にもその魅力を周知し、市民の誇りの醸成につなげられたい。
- ・ 観光振興プランを推進するため、官民及び市役所内部の連携を強化し、必要な情報をしっかり共有されたい。

○ 港湾費

(質疑事項)

- ・ クルーズ客船の誘致

(意見・要望)

- ・ これまでのクルーズ客船の誘致活動で、北九州港の認知度が上がり、船会社等との人脈も広がっているこの機会に、さらに積極的な営業活動を行われたい。また、目標はもっと高く掲げられたい。
- ・ 響灘東地区処分場整備事業は、既存の処分場の容量などを考慮し、速やかに埋立工事に着手できるよう努められたい。
- ・ 新・海辺のマスタープラン推進事業では、市民の満足度を十分に把握できるようアンケート調査の内容を検討されたい。
- ・ 海岸高潮事業については、過去に台風被害を受けた地域もあり、できるだけ早期に完了されたい。

○ 教育費

(質疑事項)

- ・ アレルギー疾患対策
- ・ 小・中学校の少人数学級の拡大と教師の多忙化解消
- ・ ユネスコスクール加盟校の推進
- ・ 小・中学校のトイレの洋式化
- ・ 北九州市子ども読書プランの成果と課題
- ・ 国際友好記念図書館の観光利用

(意見・要望)

- ・ 教職員の長時間労働の削減に努められたい。
- ・ 市費講師の一層の処遇改善に努められたい。
- ・ 35人以下学級の拡大に努められたい。
- ・ 学校図書館の常時開館の拡大を推進されたい。
- ・ 学力向上につながるよう、家庭学習チャレンジハンドブックを活用されたい。
- ・ 教師に暴力を振るうことのないよう、児童生徒にしっかりとした指導をされたい。
- ・ 学力は必要なものであるとの共通の認識の上で、全国学力学習状況調査の結果を受けとめられたい。
- ・ 家庭学習は保護者の協力が不可欠であり、学校の一步踏み込んだ対応が必要である。
- ・ 小・中学校のトイレの100%洋式化の早期達成に努められたい。
- ・ 北九州市立高等学校の学生寮は、公立であることを踏まえ、公平な運営を工夫されたい。
- ・ 東部地域の特別支援学校の再編に伴うスクールバスの運行は、保護者を初め関係者の声を聞いて円滑に進められたい。
- ・ 経済界との連携による学校支援モデル事業について、市役所も企業応援団と連携して、積極的に参加されたい。
- ・ 小倉南図書館の整備は、利用者のニーズに配慮されたい。
- ・ ブックスタート事業は、配布率が向上するよう全力を挙げて取り組まれたい。
- ・ 読書推進に向け、親子で図書館を利用する仕組みづくりを検討されたい。
- ・ 児童生徒の健康維持のため、冬場の教室の加湿を検討されたい。

2 卸売市場特別会計

(質疑事項)

- ・ 中央卸売市場における取扱量及び施設利用料

(意見・要望)

- ・ 今後も他の市場にない魅力づくりに取り組まれたい。

3 渡船特別会計

(意見・要望)

- ・ 若戸大橋の通行料金無料化が議論されているが、若戸渡船利用者に対する措置もしっかり検討されたい。

4 競輪、競艇特別会計

(質疑事項)

- ・ 競輪、競艇特別会計の決算概要及び収益金と繰出金の関係

(意見・要望)

- ・ 競艇で働く方々の雇用を守り、処遇を改善されたい。

- ・ 競艇事業は順調であるが、北九州発祥の競輪事業も市の財政に貢献できるよう健闘されたい。

5 港湾整備特別会計

(質疑事項)

- ・ ひびきコンテナターミナルの収支状況
- ・ 埋立地の売却状況及び公債償還基金の積立抑制

(意見・要望)

- ・ ひびきコンテナターミナルの取扱量について、平成 29 年度に 30 万 T E U という目標は厳しい状況であり、見直しを検討されたい。
- ・ 強風によるガントリークレーンの事故対策として、港湾事業者と協議の上、運用規定を早急に作成されたい。
- ・ 未売却地の分譲に努め、公債償還基金への積み立てを少しでも多く残し、平成 27 年度の第三セクター等改革推進債の活用と特別会計の廃止に臨まれたい。

6 市民太陽光発電所特別会計

(質疑事項)

- ・ 市民太陽光発電所の管理方法

(意見・要望)

- ・ 事業の管理運営について、指定管理の方法などによる民間事業者への委託ができないか検討されたい。

7 上水道事業会計

(質疑事項)

- ・ 海外水ビジネスの成果と市内企業の参入

(意見・要望)

- ・ 営業業務の包括委託は、労働条件の変更により検針員等が不利益とならないよう配慮されたい。
- ・ 海外での U—B C F の普及に努められたい。
- ・ 海外での U—B C F 事業が、本市の中小企業の業務受注につながるよう努められたい。
- ・ カンボジアへの支援は、技術支援と水ビジネスが、本市にもプラスとなるよう努められたい。
- ・ おいしい水として事業成果の高い本市の水道水を広く市民へ P R するよう広報事業を見直されたい。
- ・ 本市が製造しているボトルドウォーターは、市内の事業者に発注されたい。
- ・ 災害対策を考慮して、私道の老朽管の更新・耐震化に配慮されたい。
- ・ 市民の重要な水源である遠賀川のより一層の水質改善に努められたい。
- ・ 工事の発注に当たっては、人手不足となっている現状を考慮して、適正な入札と

なるよう努められたい。

8 下水道事業会計

(質疑事項)

- ・ 浸水対策

(意見・要望)

- ・ 直近の豪雨の状況を反映した浸水対策に努められたい。
- ・ 調整池の整備も含めた浸水対策の早期完了に努められたい。
- ・ 下水道のアセットマネジメントは、市民生活へ影響が出ないよう、起債の償還状況を踏まえ、しっかりとした計画を策定されたい。
- ・ 市民が安心して暮らせる下水道のインフラ整備に努められたい。